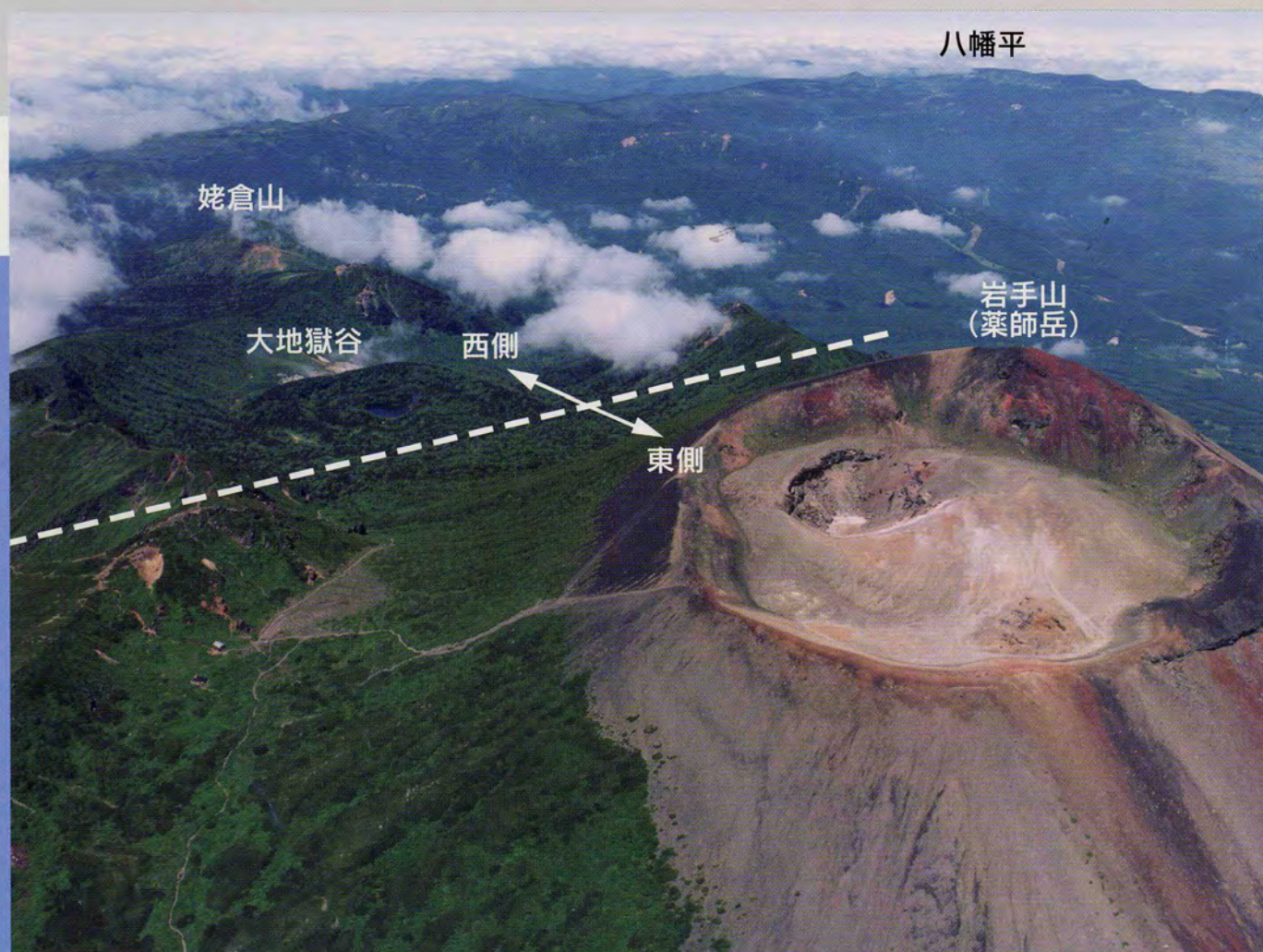


岩手山

火山防災ハンドブック



平成10年10月

監修
岩手山火山災害対策検討委員会

発行
建設省東北地方建設局岩手工事事務所、岩手県
盛岡市、雫石町、西根町、滝沢村、松尾村、玉山村

岩手山火山防災マップ作成の目的

岩手山は、これまで噴火を繰り返してきた大きな活火山です。

国・県・市町村をはじめ防災関係機関は、噴火に備えてみなさんの安全を確保するための対策を講じています。しかし、噴火が発生した場合は、みなさんの迅速な避難がもっとも重要になります。

このマップは、岩手山の過去の噴火に関する調査をもとに作成したものです。今後、岩手山で想定される噴火について多くの方に知っていただき、一般家庭や観光施設をはじめ関係機関での防災対策に役立てていただくことを目的としています。

マップ作成の前提条件

このマップの想定は、次のような前提条件のもとに行っています。

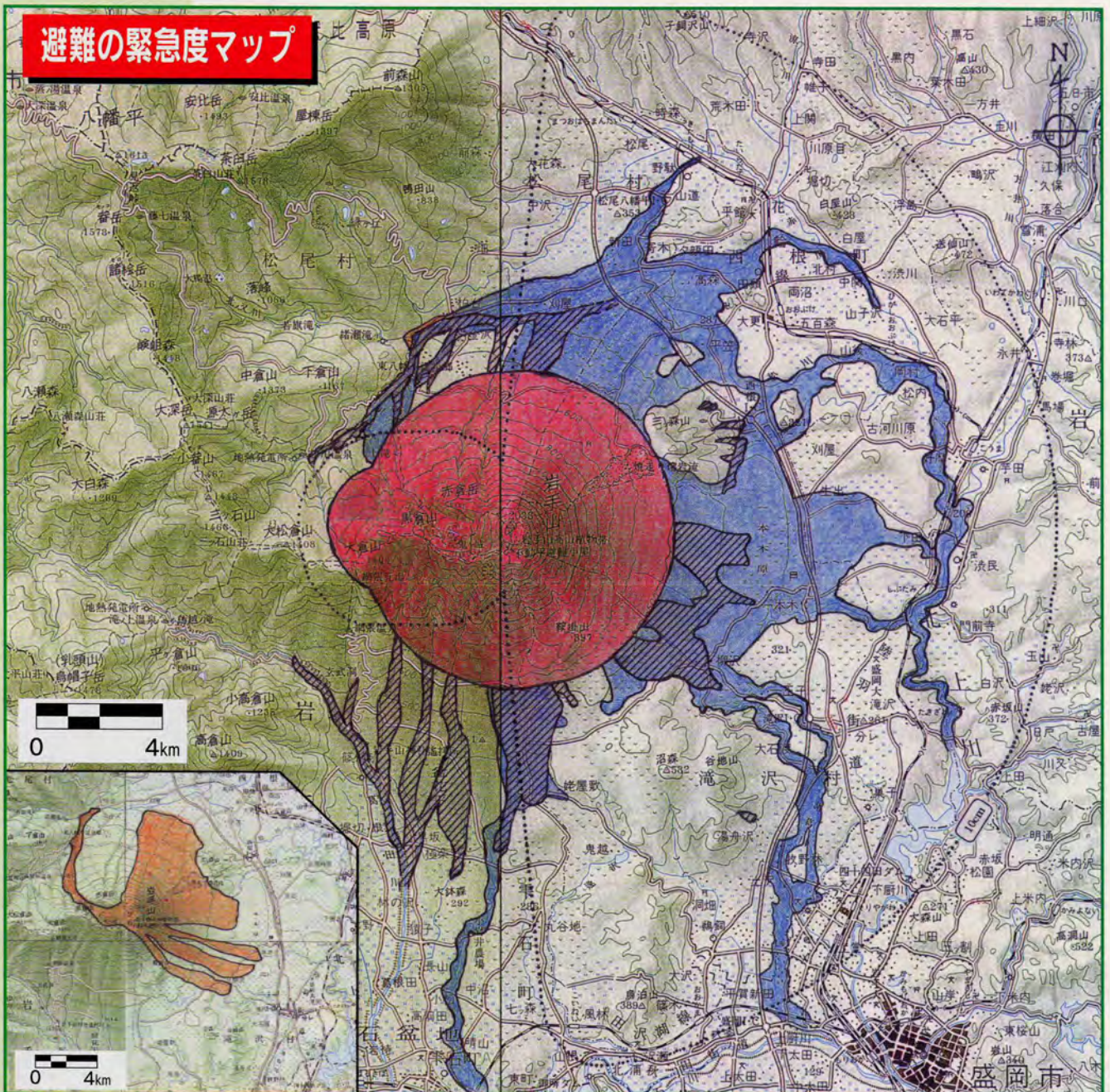
- ① 過去の噴火の仕方や火山観測状況から、噴火の可能性が高いと推定される西側の水蒸気爆発と、東側のマグマ噴火を想定しています。
- ② 西側の水蒸気爆発は、過去約7,400年のうちで最も大きかったと推定される、約3,200年前の水蒸気爆発と同程度の規模を想定しています。火口の位置は噴気活動が見られる大地獄谷から姥倉山付近までの、東西約1.5kmの範囲を想定しています。
- ③ 東側のマグマ噴火は、過去約6,000年の噴火のうちで最大級の一つと推定される1686年の噴火と同程度の規模を想定しています。火口の位置は、岩手山山頂火口を想定しています。

このとき発生が想定される現象は、噴石、火砕流、火砕サージ、火山灰などの降下、溶岩流、土石流および融雪による火山泥流です。火山灰などの降下と溶岩流は、1686年噴火と同じ量のマグマがそれぞれ1回の噴火で全部噴出したと想定して到達範囲を求めています。また、火砕流、土石流、融雪による火山泥流は火山灰などの量に応じて、噴石と火砕サージは過去の実績から到達範囲を求めています。

- ④ 火山灰や溶岩流などの現象は風向きや火口の地形によって、いろいろな方向におよぶ可能性がありますので、可能性のある全ての方向についての到達範囲を示しています。

ただし、火山噴火を正確に予測することは困難です。実際の噴火ではこの図と異なる場合もありますので、噴火の状況に即した対応が必要となります。

避難の緊急度マップ



この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1の地勢図を複製したものです。(承認番号 平17総複、第1017号)

上の図は岩手山の噴火様式による避難の緊急度を色別にしたものです。地域ごとに到達する現象の種類と時間が異なりますので、避難に際しては以下のように注意してください。

- ：噴石、火砕流、火砕サージが到達する範囲です。
これらの現象は噴火直後に発生し、速度が速いため噴火後の避難は困難です。
噴火が発生しそうなときには、この範囲に立ち入らないでください。
 - ：融雪による火山泥流が到達する範囲です。
火山泥流は積雪期にのみ発生する現象ですが速度が速く、迅速な避難が必要です。
この範囲の住民の方は、積雪期に噴火が発生しそうなときには、火山情報に十分注意しながら避難してください。
 - ：噴火による降灰後、雨による土石流が到達する範囲です。
土石流は速度が速いため、この範囲の住民の方は大雨が降ったときは直ちに避難をしてください。
 - ：溶岩流が到達する範囲です。
溶岩流は速度が遅く、徒歩による避難が可能です。

※降灰の範囲は点線で示してあります。この範囲では6ページの「火山灰などの降下」の項を参照してください。

岩手山が噴火すると...

火山噴石

火山から噴き上げられた高温の岩片は、火山の周辺に落下します。噴石に当たると、生物は死傷し、建物は破壊され、また、山林の火災にも発展しかねません。

火砕流

火砕流は高温の噴出物が沢沿いなどを高速で流れ下る現象です。低地で沢が浅くなると広い範囲に広がることもあります。高温で破壊力が大きいので、全ての建物、動植物に壊滅的な被害を与えるきわめて危険な現象です。

火砕サージ(爆風)

火砕サージは土砂混じりの爆風で、小高い丘の上にもはいて上がってきます。高速で流走し、樹木や家屋をなぎ倒す危険な現象です。

融雪による火山泥流

積雪時に火砕流が発生すると雪が融けて、火山泥流が発生することがあります。火山泥流は流下途中の雪や土砂を取り込み、下流側に広範囲に氾濫します。

溶岩流

溶岩流が到達すると、田畑・家屋などの財産は、焼かれ、また厚い岩石の下に埋没されてしまいます。

土石流

土石流は火山灰が降り積もったところで、降雨により発生します。火山灰がたくさん堆積した箇所の下流で発生する危険性があります。特に沢沿いや低い場所は危険です。

火山灰などの降下

火山から噴き上げられた火山灰・スコリア(黒い軽石のようなもの)は上空の風によって運ばれてきます。大規模な噴火で上空が噴煙に覆われると、昼間でも夕暮れのように暗くなります。火山灰を吸い込むと人間の健康にも影響を及ぼします。火山灰が降り積もった地域では、スリップによる事故が多発したり、農作物への影響など広範囲に被害が発生します。また多量に火山灰が堆積すると、その重みで建物が倒壊する恐れがあります。雨が降ると水を吸って、さらに重くなります。

岩屑なだれ(山くずれ)

噴火や地震が引き金となって、山体が大規模に崩壊して発生する現象です。発生の可能性が低いので、火山防災マップには過去の事例を掲載しています。

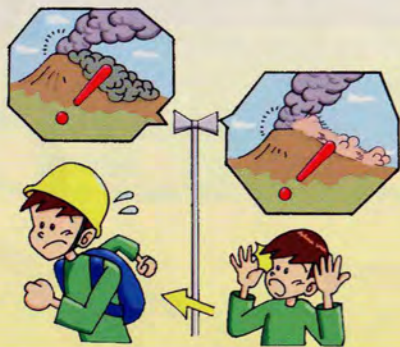
噴火が起きたら、 起きそうになったら

噴石



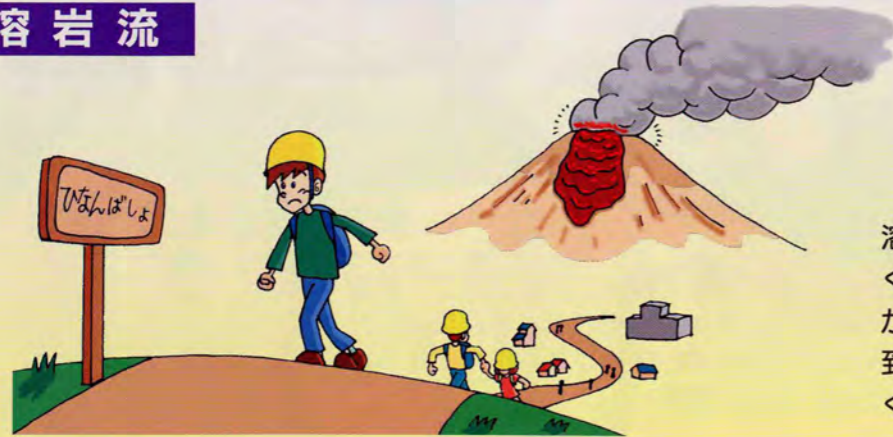
噴石の多くは火口から数km程度以内に落下するため、火口から十分に離れた箇所では安全です。岩手山に近づかないようにしましょう。

火砕流・火砕サージ



火砕流・火砕サージは高速（時速100km以上）で流れ下るため、発生してからの避難はほとんど困難です。噴火の危険性が高い状況になったら、火山情報などに十分注意し、速やかに到達範囲の外に避難してください。万が一、避難が遅れた場合には、少しでも高台の物陰に隠れてください。

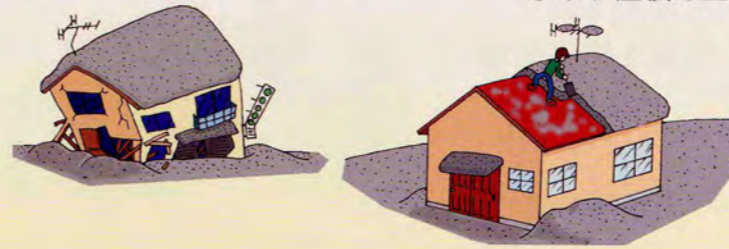
溶岩流



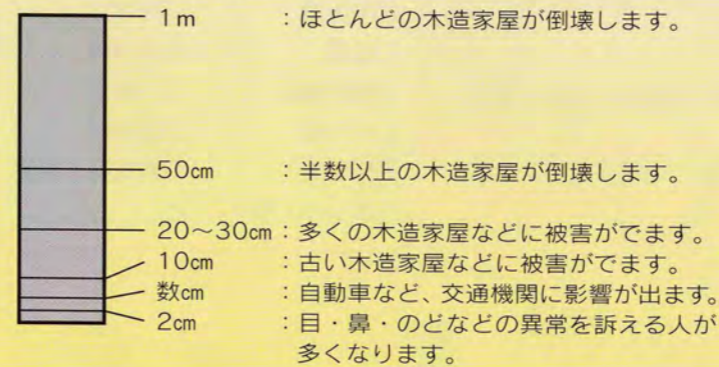
溶岩流は一般に速度が遅く、徒歩でも逃げるのが可能です。落ち着いて、到達範囲の外に避難してください。

火山灰などの降下

火山灰がたくさん積もった場合には、家屋がつぶれないよう、屋根の上の火山灰を除去してください。



降灰による災害：降り積もった火山灰・スコリアなどの厚さと被害の目安（雪が積もっていれば、影響がさらに大きくなります。）



少量でも、火山灰が降り出したら、タオルやマスクなどで吸い込まないようにしましょう。また、帽子を着用しましょう。昼間でも急に暗くなることがありますが、火山灰で死傷することはありません。冷静に行動してください。



土石流



土石流は雨により発生し、高速（時速50km程度）で流れるため、噴火後、台風の接近など、あらかじめ大雨が想定される場合には、土石流の到達範囲から避難してください。万が一、避難が遅れた場合には、沢から離れた少しでも高いところに避難してください。

融雪による火山泥流

融雪による火山泥流は高速（時速60km程度）で流れるため、速やかな避難が必要です。噴火の危険性が高い状況になったら、火山情報などに十分注意し、できるだけ早く到達範囲の外に避難してください。万が一、避難が遅れた場合には、少しでも高いところに逃げてください。



● 避難の心得

避難に際しては日頃からの準備が大切です。火山活動が活発化したときは、正しい情報を得て準備を再確認してください。

「日常」

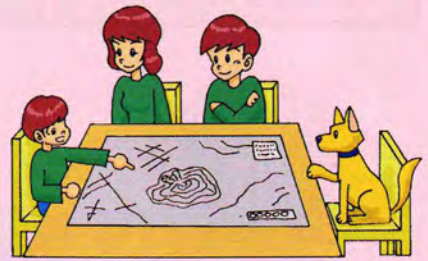
- ① 日頃から盛岡地方気象台の火山情報や、報道機関の防災情報に関心を持ちましょう。
- ② 避難場所・避難路の確認をしておきましょう。
- ③ 家族や近所で避難の仕方を話し合っておきましょう。
- ④ 防災訓練に参加しましょう。
- ⑤ 非常用品をリュックに入れて準備しておきましょう。

「避難時」

- ① 市町村長から避難勧告または避難指示が発せられた場合には、速やかに避難しましょう。
- ② 市町村、警察、消防等の正しい情報をつかみ、デマ・うわさに惑わされないようにしましょう。
- ③ 緊急時は避難を最優先にしましょう。
- ④ あわてずに落ち着いて行動しましょう。

「安否情報」

避難後の安否の確認には、**NTTの「災害用伝言ダイヤル」171番**を利用しましょう。



非常用品チェックリスト

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ヘルメット(頭巾) | <input type="checkbox"/> 防寒具 |
| <input type="checkbox"/> ゴーグル | <input type="checkbox"/> 替えの下着 |
| <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> タオル |
| <input type="checkbox"/> 手袋 | <input type="checkbox"/> ちり紙 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 非常食 |
| <input type="checkbox"/> ラジオ | <input type="checkbox"/> 飲料水 |
| <input type="checkbox"/> 常備薬 | <input type="checkbox"/> 貴重品・現金 |
| <input type="checkbox"/> カッパ・傘 | <input type="checkbox"/> _____ |



● 気象庁発表の火山情報

火山活動が活発になると、盛岡地方気象台から、右の火山情報が発表になります。落ち着いて、情報を理解し、避難の準備等に役立ててください。

火山情報の種類	解	説
緊急火山情報	生命、身体にかかわる火山活動が発生した場合に随時発表します。	
臨時火山情報	火山活動に異常が発生し、注意が必要なときに随時発表します。	
火山観測情報	火山活動の状況を定期的または随時にきめ細かく発表します。	

ハンドブック の 問い合わせ先

建設省東北地方建設局 岩手工事事務所	TEL 019-624-3131 (洪水予報課)
岩手県	TEL 019-651-3111 (消防防災課・砂防課)
盛岡市	TEL 019-651-4111 (消防防災課)
雫石町	TEL 019-692-2111 (総務課)
西根町	TEL 0195-76-2111 (総務課)
滝沢村	TEL 019-684-2111 (総務課)
松尾村	TEL 0195-74-2111 (総務課)
玉山村	TEL 019-683-2111 (住民生活課)

岩手山火山災害対策検討委員会委員

青木謙一郎、太田岳史、○斎藤徳美、土井宣夫、野口晋孝、浜口博之
盛岡市長、雫石町長、西根町長、滝沢村長、松尾村長、玉山村長 ○印：委員長